

アルミニウムのチカラで、 暮らしを豊かに、 社会を持続可能に

UACJグループ理念 (根底にある思い)



企業理念 素材の力を引き出す技術で、
持続可能で豊かな社会の実現に貢献する。

目指す姿 アルミニウムを究めて環境負荷を減らし、
軽やかな世界へ。

価値観

- ▶相互の理解と尊重
- ▶誠実さと未来志向
- ▶好奇心と挑戦心

理念実現
への
アプローチ

1

理念実現
への
アプローチ

2

理念実現
への
アプローチ

3

暮らしや産業社会を支え、環境問題の解決に貢献する素材として
アルミニウムの需要が増大するなか、UACJは、当社の存在意義（パーパス）を問い直し、
2020年2月にグループ理念体系を再定義しました。
この理念によって、私たちが進むべき方向が明確になったとともに、
これまでの施策もその実現につながるアプローチであったことを確認しました。
当社は今後、この理念のもと、アルミニウムのチカラで
持続可能で豊かな社会を実現させることに、確信を持って取り組んでいきます。

供給 エリアの 拡大

供給 分野の 拡大

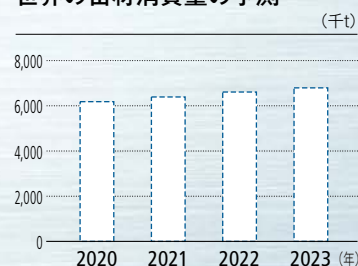
環境への 取り組み

UACJの提供価値 (パーパス)

暮らし・産業を支える素材として、豊かな社会の実現に

アルミニウムは、加工しやすい、熱や電気を伝えやすいなどの素材特性が評価され、暮らしや産業のあらゆる場所で活躍しています。そして、近年では経済成長が著しい新興国をはじめ、世界中で需要が拡大しています。UACJは、世界トップクラスの生産能力とグローバルな供給体制を活かして、アルミニウムがもたらす豊かな社会の実現に貢献しています。

世界の缶材消費量の予測



出典：CRU Aluminium Rolled Products
Market Outlook May 2018

環境問題の解決への一助となり、持続可能な社会の創出へ

近年、地球温暖化や海洋プラスチック問題などの環境問題が生じています。アルミニウムは“軽い”“リサイクルしやすい”などの特性を持つことから、こうした環境問題を解決する素材として期待を集めています。当社は、アルミニウムの特性を最大限に引き出す研究開発力や加工技術を活かして、課題解決の一助となる製品を生み出し、持続可能な社会の創出に貢献しています。



車などの軽量化によるCO₂排出削減に



海洋プラスチック問題の解決に

アルミニウムを世界に届けるために、 世界3極に150万トン超の生産体制を構築

日本

今後の市場動向を見据え、生産効率を高める品種移管を実行

福井製造所の品種（缶材・LNGタンク材に集約）

■ 缶材 ■ LNGタンク材 ■ その他
■ 箔地 ■ 熱交換器材

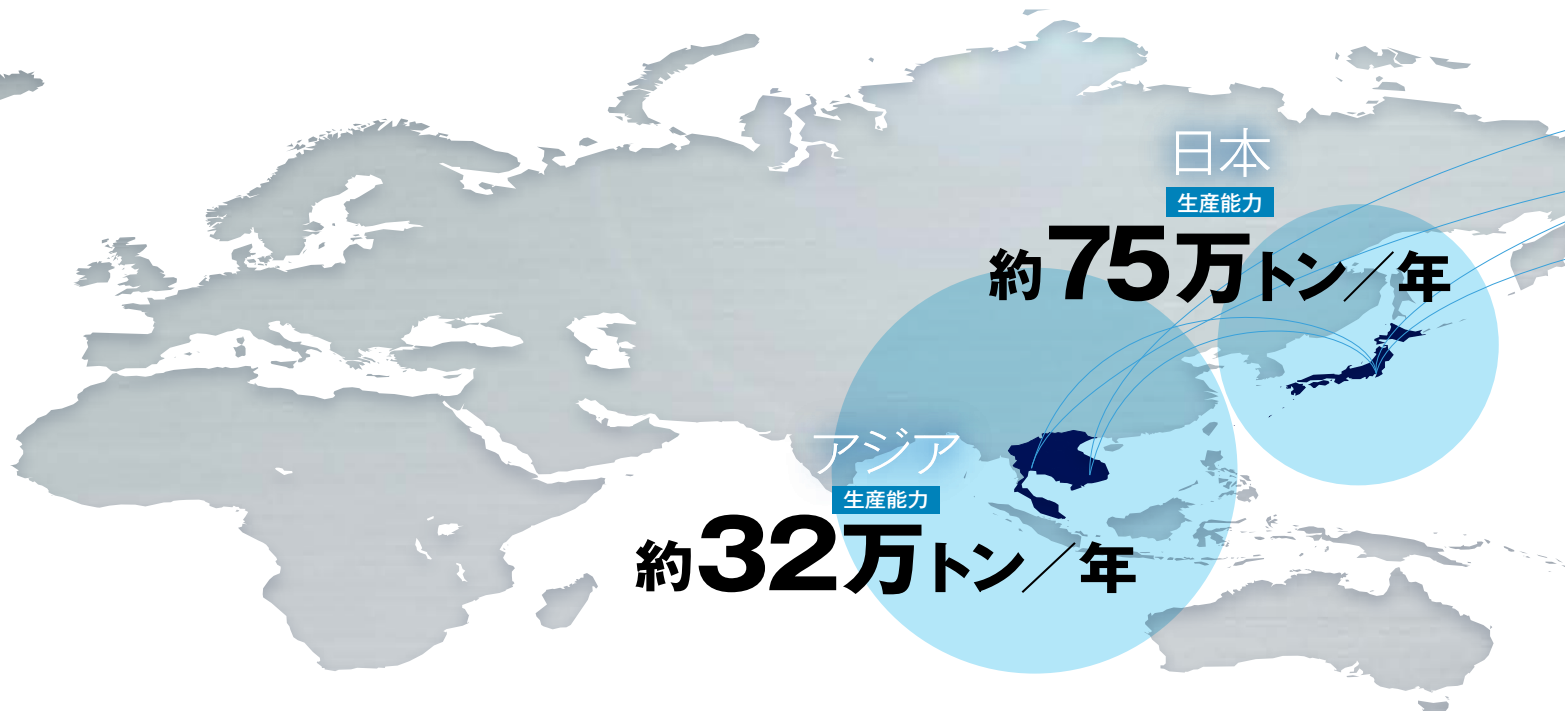


名古屋製造所の品種（缶材を他製造所へ移管）

■ 缶材 ■ 自動車パネル材 ■ 印刷版 ■ キャップ材
■ 箔地 ■ 熱交換器材 ■ フィン材 ■ その他



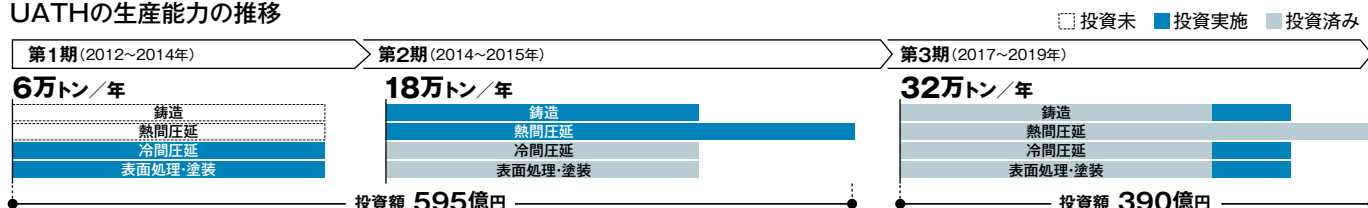
日本は、アルミニウム圧延品でUACJが5割以上シェアを持ち、すでにプレゼンスを獲得している市場です。ただし、人口減少を背景に市場規模の縮小が予想されています。そのため当社は、需要が減少するなかでも収益性を確保するべく、日本各地に生産拠点を持つことを活かして品種移管を実行し、生産効率を高めてきました。今後も、生産拠点の集約化などによって最適生産体制を追求し、多品種ニーズにコスト競争力をもって応えていきます。



アジア

アルミニウム圧延業のグリーンフィールドに32万トンの年間生産能力を確立

UATHの生産能力の推移

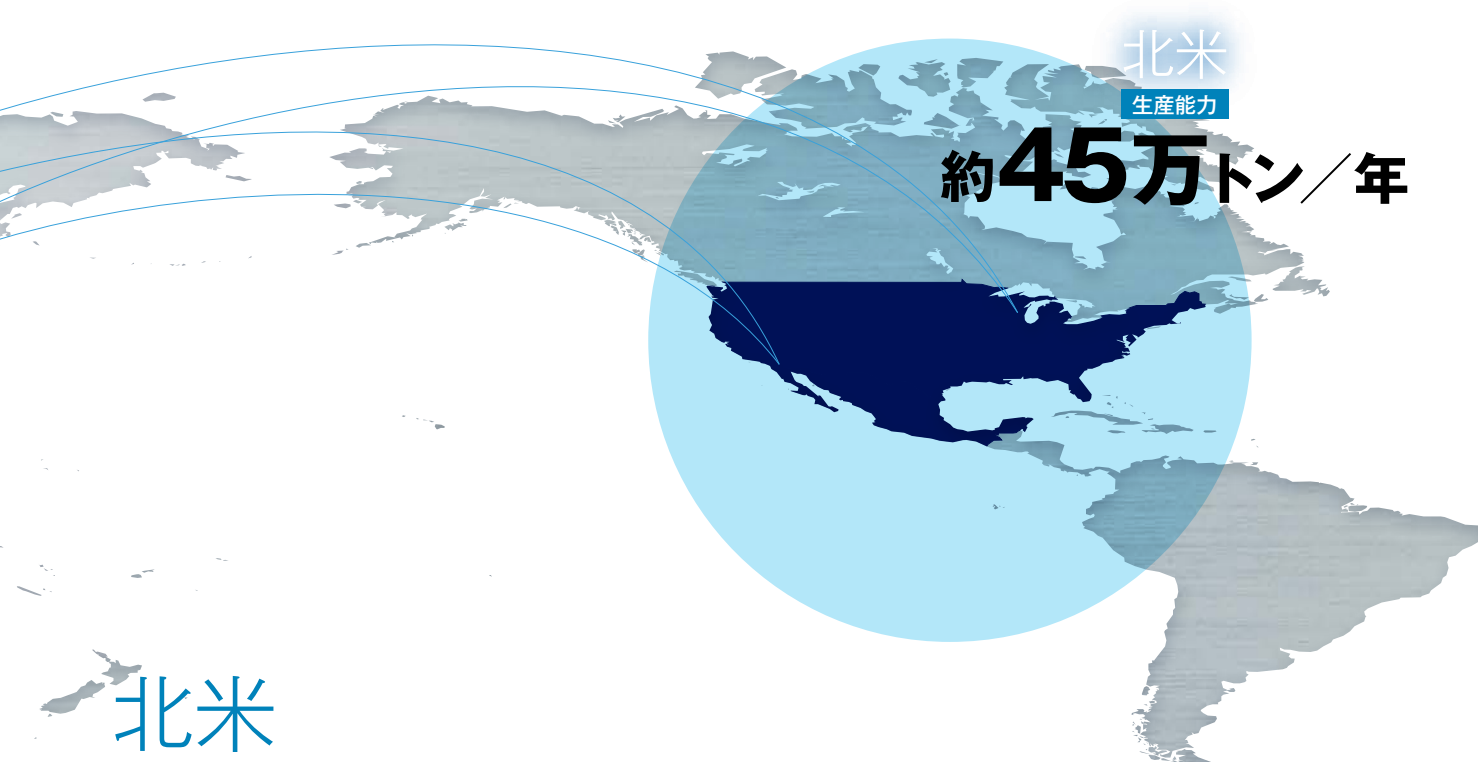


アジアは、経済成長とともにアルミニウム需要が伸長しているエリアです。また、高い生産能力を持つ競合がいません。UACJは、こうした市場環境と競合状況を見極め、東南アジアの中核拠点UATH※1において3期に分けて生産能力を増強してきました。今後は、需要が旺盛なアフリカや南米などの他の地域にも供給を広げ、高めてきた生産能力を最大限に発揮していきます。

※1 UACJ (Thailand) Co., Ltd.

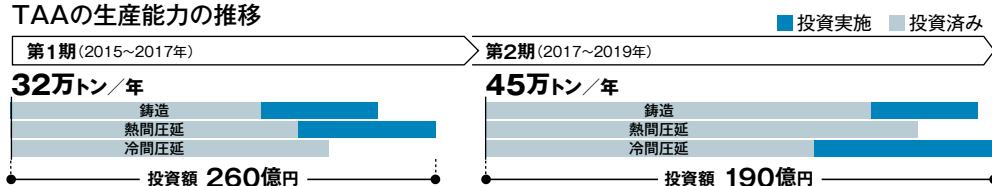
世界の旺盛なアルミニウム需要に応えるため、UACJは、グローバルかつ150万トン超の年間生産能力を有する、世界トップクラスの供給体制を構築してきました。

とりわけ日本、米国、タイの3極それぞれに持つ30万トンクラスの年間生産能力を活かして、安定供給力とコスト競争力を発揮し、世界のアルミニウムニーズに応えています。



競合各社の自動車材シフトが進むなか、 世界トップの缶材需要をさらに獲得する体制を構築

TAAの生産能力の推移



米国は、世界一の缶材需要を持つ市場です。しかし、近年では自動車材としてのアルミニウム需要も増大しており、米国の同業各社は生産を自動車材へとシフトさせています。北米における主要拠点の一つTAA※2では、世界トップクラスの缶材の生産性を活かして、需給が逼迫する缶材生産に特化する戦略を選択。先行投資によって高めてきた生産能力を活かして、供給力不足が懸念される缶材需要を確実に獲得していきます。

※2 Tri-Arrows Aluminum Inc.

アルミニウムを広く社会で役立てるために、付加価値を高めるソリューション力を強化

経営統合によって
多彩な加工力を確立

新たな加工力を獲得し、
ソリューション力を強化



2016年

自動車構造材などの、北米におけるリーディングカンパニーの買収によって、新たな加工・ソリューション力を獲得

2018年

成長エリアである海外市場の現地ニーズに応えた製品化を加速させるために米国、タイに研究開発拠点を設立

2019年

顧客との共創によって開発力を高めるため、顧客接点となるイノベーションエリアを開設

現UWHの買収により、自動車部材の供給が拡大

UWH※は、北米における自動車のアルミニウム構造材および各種アルミニウム部品のリーディングカンパニーです。UACJは、2016年にUWHを迎え入れたことによって、自動車部材分野において新たな加工・ソリューション力を獲得。自動車

部材のラインナップが広がりました。

また、UWHは確固たる顧客基盤を築いていたことから販売先の拡大にもつながり、UWHの買収を契機に、当社の自動車部材の供給は大きく拡大しました。

※ UACJ Automotive Whitehall Industries, Inc.

アルミニウムが社会で活用される素材となるには、用途に応じた機能を付与する加工が必要です。

UACJは、経営統合によって多彩な加工力を得ましたが、現UWHを迎え入れるなどして、さらに新たな加工力を獲得。

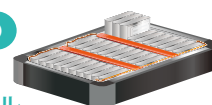
また、日本に加えて、新たに米国、タイに研究開発拠点を設け、製品化力を高めてきました。

今後も、アルミニウムニーズへのソリューション力を高め、アルミニウムを幅広い分野へ供給していきます。

アルミニウムを使いやすい素材とし、幅広い分野へ供給

ソリューション事例 ①

電気自動車の
バッテリーモジュール



自動車



飲料缶



航空・宇宙



建築



船舶

IT



ソリューション事例 ②

自動車軽量化に
貢献するバンパー



ソリューション事例 ③

強度とデザイン性を両立した
スマートフォン筐体



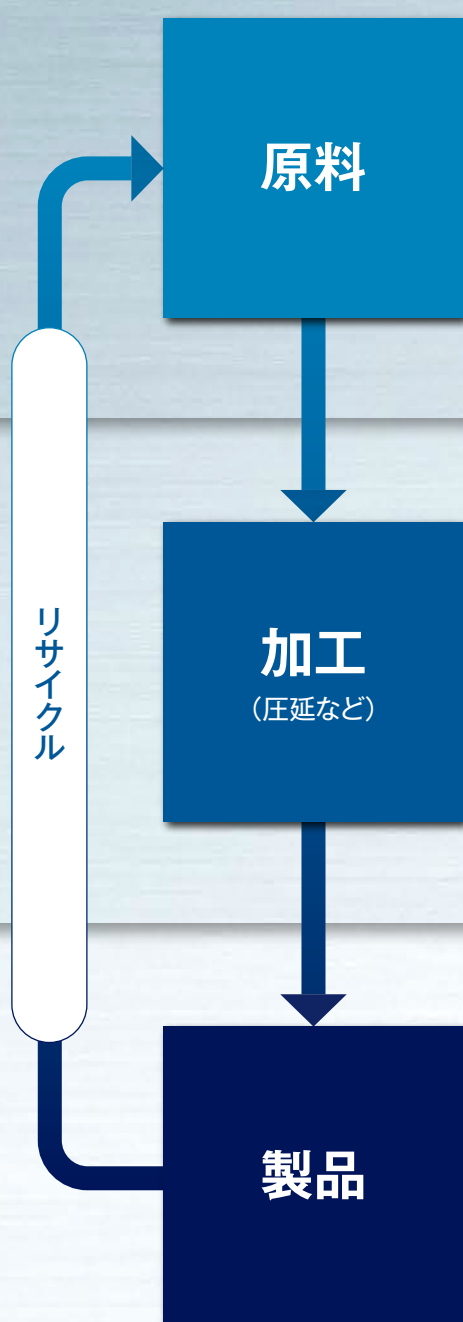
研究開発部門と一体となった製造体制を確立することによって、製品化力を強化

UACJの研究開発部門は、製品開発とは別に基盤研究を行っています。その基盤研究では、アルミニウムの可能性を長期的な視野で追求することを目的とした素材開発に加えて、生産技術の開発も行っています。ここで開発された生産技術を製

造部門に提供し、品質・生産性向上に貢献しています。

また、日本のみならず、主要拠点がある米国やタイにも研究開発拠点を設け、製造・営業部門と連携して、各地のローカルニーズ・シーズを掴み、迅速な製品化を実現しています。

アルミニウムの環境性能を最大限に活かすため、サプライチェーン全体を通じて環境負荷を低減



スクラップ・リサイクル炉の活用でCO₂排出量・廃棄物量を削減

アルミニウム製品の原材料となる地金は、原料鉱石であるボーキサイトから作る場合に比べ、空き缶などのスクラップ材をリサイクルして製造する場合の方が、消費電力量を97%削減できます。UACJは、スクラップ・リサイクル炉を各拠点に導入し、積極的にリサイクル材を活用しています。

製造時のあらゆる工程で環境負荷を低減

製造時に発生するCO₂排出量の削減や化学物質管理などを掲げる環境基本方針のもと、主要テーマごとに管理目標を毎年度設定し、UACJグループ全体で環境負荷低減に取り組んでいます。とりわけ主要事業である圧延工程におけるエネルギー消費量の環境負荷が大きいため、生産効率向上や燃料転換などを推進しています。

環境に配慮した製品の供給を通じて低炭素社会・循環型社会を実現

UACJは、アルミニウムの特性を最大限に引き出す研究開発力や加工技術を活かして、環境負荷の小さい製品を開発。缶の軽量化やエアコンの熱交換性能の向上による省資源化、自動車の車体軽量化を通じた燃費改善によるCO₂削減など、低炭素社会・循環型社会の実現に貢献しています。

アルミニウムは、環境問題を解決する素材の一つとして期待が高まっていますが、供給量を増やすことは製造工程における環境負荷を増大させてしまいます。

UACJは、アルミニウム製品が普及することによる環境負荷低減を最大限に活かすべく、リサイクル材の使用や燃料転換などの製造工程の見直しをはじめ、サプライチェーン全体での環境負荷低減に取り組んでいます。

省エネ・省資源を実現するアルミニウム製造工程

新しく地金を作る場合



アルミニウムスクラップ材をつかう場合



地金製造の消費電力量を大幅に削減するため、スクラップ・リサイクル炉を積極導入

UACJでは、スクラップ材を積極的に使用するため、スクラップ・リサイクル炉の拡充を順次、進めています。TAA^{※1}では2018年度に増設、UATH^{※2}には2019年度に新設しました。また、TAAでは原料の約80%にスクラップ材を使用しています。スクラップ材の活用はコスト削減にもつながるため、今後も活用を積極的に進めていきます。

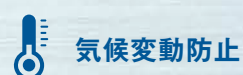
※1 Tri-Arrows Aluminum Inc.

※2 UACJ (Thailand) Co., Ltd.



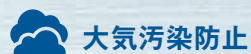
スクラップ・リサイクル炉

主な取り組み



気候変動防止

- 省エネ機器の導入や設備更新
- 熱源を重油からLNGに転換など



大気汚染防止

- 排ガス処理装置の設置 など



水質汚染防止

- 工場排水の再利用 など

ASIへの加盟を通じて、業界のサステナビリティの取り組み水準の向上に貢献

UACJは、2020年7月に、日本のアルミニウム圧延メーカーとして初めて、世界的なアルミニウム業界団体であるASI^{※3}に加盟しました。当社は、ASIに加盟することで、業界のグローバルスタンダード策定にも積極的に関与するなどして、ASIが目指す業界のサプライチェーン全体におけるサステナビリティへの取り組み向上に貢献していきます。

※3 Aluminium Stewardship Initiative



リサイクル推進



省資源化

軽量化



CO₂削減

業界団体などと連携し、アルミニウムを活かした循環型社会の形成を啓発

UACJは、(一社)日本アルミニウム協会の一員として、アルミニウムの良さをPRする広報活動などさまざまな協働をしています。また、アルミ缶リサイクル協会による飲料缶の回収活動にも参加。そのほかに、さまざまな環境教育イベントに参加しています。こうした活動を通じて、循環型社会形成に寄与するアルミニウム製品の普及を行っていきます。